



## 休耕田の活用(リモコン農園)で町の観光資源と障がい者雇用を創出

### 特定非営利活動法人リライブ

所在地	泉南郡岬町淡輪 710-2
代表者	松尾 匡
従業員数	6人
業種	農業的サービス業

### CSRの取り組み概要

大阪府の南端、岬町の抱えるさまざまな課題 休耕田、空き家、雇用等 に向き合い、岬町のもつ豊かな自然と資源を使い新しいビジネスを起こすことによってまちの再生を図ることを目的として活動している。

まずは、耕作放棄地 休耕田 を有効活用するための貸農園事業。都市部に住む遠隔地のお客様に1畝(うね)5mの農地を1年契約で借りていただき、現地に足を運ばずともスマホやパソコンから遠隔操作 リモコン で農作業や収穫ができるサービスを提供している(リモコン農園)。契約すると、画面に80種類の野菜の苗が用意されており、その中から選択して、植え付けから水やり、肥料、草抜き等の作業の指示が行われる仕組みである。その作業を請け負っているのは就労継続支援A型・B型の障がいのある人たちである。

また、町の観光産業を開発するため、体験農園を利用した地域体験ツアーのサービスを提供している。子育て世代の母親と子どもを対象に、休耕田での農業体験や収穫作業、農産物と地域の漁師から仕入れた魚介類を使ったバーベキュー、料理体験等のプログラムが用意されている。古民家での宿泊も可能だ。

さらに、放置すれば廃屋や倒壊の恐れのある空き家の長期管理事業に取り組んでいる。定期的な空気の入替えや清掃等の管理、民泊やゲストハウス等での活用など家主と相談しながらの活動である。

2016年8月現在、貸農園 リモコン農園 のお客様は20名、宿泊つき体験農業も募集後2週間で満席になるなど事業はマスコミにも取り上げられ、好調な滑り出しを見せている。

これまで町内に知的障がい者に特化した事業所はあったが、精神障がい者を受け入れる事業所がなかったため、リライブでは精神障がい者に特化したA型事業所を立ち上げ、精神保健福祉士と農業のプロが一人ひとりに農業を伝授している。今後の目標としては、町の増え続ける耕作放棄地を開墾(かいこん)し、その解消を図っていくこととしている。かつては関西電力の火力発電所に依存してきた町であるが、閉鎖後20年経っても地域産業が発展していない。地域には、瓦葺(かわらぶき)のすばらしい家が空き家として放置されており、休耕田と合わせて、観光産業に資する資源として活用することが町の課題である。

### 今後の取り組み

今後、岬町の海、山、古墳等の地域資源を活かし、観光産業の振興を通じて雇用の場を作りたいと考えている。

地域の活性化をめざし、行政や観光協会への働きかけ、南海電鉄のCSR活動や「みさき里山クラブ」との連携、さらに道の駅、外部サイトの活用などに取り組むたい。

